



あまの 四季彩

網野町の人口(人)			
	R2.3末	R2.4末	前月比
0～14歳	1,210	1,222	+12
15～64歳	6,648	6,573	-75
65歳～	4,840	4,833	-7
合計	12,698	12,628	-70



塩江暮らしを楽しんでいる田家さん一家

「地域の高齢化が進んで、昔は元気に外を走り回っていた子どもも姿も少なくなりました。」と、塩江区の吉岡忠昭区長は話します。

そんな今年5月、京都市内の和食料理店で料理人をしていた田家裕樹さんは仕事で知り合った先輩移住者の勧めで、家族みなさんと塩江に移り住むことを決めました。

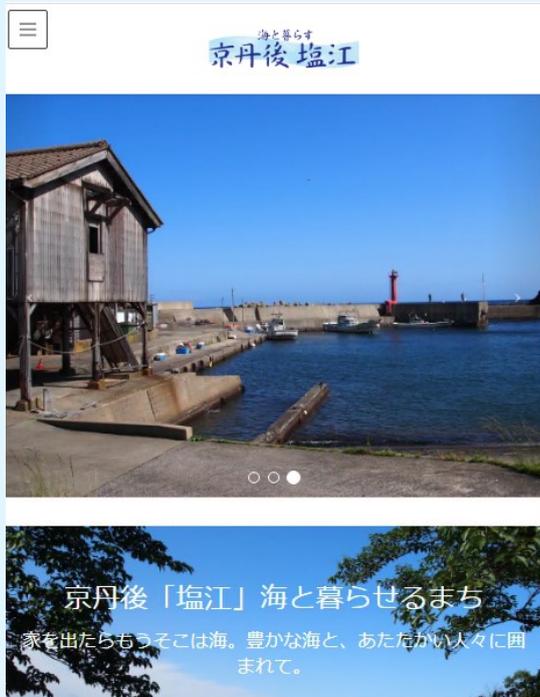
「もともと海産物加工の仕事がやりたいと考えていました。今は塩江でとれた海産物を使い、お惣菜などを作っています。塩江は地域全体の繋がりが強いので新鮮な海産物が手に入りやすいです。生活する上でもたくさんの方々に助けて貰えるため、とても住みやすいところです。」と田家さん。

塩江区 ホームページで未来の地域づくり

塩江区では、この3年間で市外から移住してこられた方が3組と、1年に1組のペースで増えていきます。

さらに移住者を増やすため、塩江区では新たに移住希望者向けのホームページを開設しました。

吉岡区長は「昨年までは子どもが少なかつた塩江に、若いご家族が引越して来てくれるのはとてもうれしい。田家さんご家族を含め今年から子どもたちが増えたので、活動を中止していた愛護会も復活できます！」と、笑顔が絶えません。



塩江区HP「海と暮らす 京丹後塩江」
(<http://kyotango-shioe.com/>)

現在、吉岡区長を中心に地域の情報を詰め込んだインスタグラムを作成中で、塩江で暮らす住民の方々が投稿者となり、地域全体で暮らしの魅力を発信していく予定です。

吉岡区長は「ホームページを見て塩江という地域の歴史や海産物、また住民の暖かさを知って欲しいです。特にこれをきっかけに田家さんのような若い世代の方々に塩江に住んでいただきたい。地域に若い世代が増えることで10年、20年後の塩江のまちを元気にするのが目標です。」と、未来を見据えます。

新しいホームページでは塩江の魅力発信し、暮らしの基本情報から空き家情報まで掲載しています。

また、京丹後市移住支援センター「丹後暮らし探求舎」への問い合わせも、このホームページから可能となっています。

コウノトリ 子育て中

網野町島津地内でコウノトリが子育てをしています。2年前から、毎年数羽のヒナが生まれ巣立っています。今年も3羽のヒナが元気に成長中です。無事にヒナが巣立ち出来るよう、皆さんで協力してコウノトリが住みやすい環境を作り、新しい小さな命を見守っていきましょう。



皆さんへのお願い

- 子育て中のコウノトリはとても神経質になっています。巣には近づかないようにしてください。
- 私有地や侵入禁止の農道などには立ち入らないようにしましょう。
- 絶対に餌を与えないでください。コウノトリが自らの力で生活し子育てができるよう距離を保って見守りましょう。